

さんせいう しつもんばこ
酸性雨なんでも質問箱

Q どうして酸性雨は降るのですか？

A 石油や石炭を燃やすときに発生する大気汚染物質（硫黄化合物や窒素化合物など）が変化して硫酸や硝酸になり、雨に溶けこんで酸性雨になるといわれています。主な発生源は車や発電所、工場などです。

また、火山から硫黄化合物が放出されることも多くあります。

Q 午前中に測定したときよりも、夕方に測定したときのほうが酸性が強くなるように思いますが、なぜですか？

A 日中に発生した空気の汚れ（自動車排出ガスなど）によって、夕方のほうが酸性が強くなったと考えられます。また、雨の降り方によっても測定値が変わることがあります。

Q 使用したパックテストを放置すると色が変わってしまうのはなぜですか？

A パックテストを使用したあと放置すると、空気が入りこむなどして酸性の強さが変化してしまいます。測定するときは、反応時間を 20 秒とし、そのときの色で比較表とあわせてみましょう。

Q 自動車の多く通る道の近くで採取したからか、酸性が強い気がしました。

A 自動車から排出されるガスに含まれる二酸化窒素などで酸性が強くなるので、その影響があるのかもしれませんが。

Q 雨の降り始めのほうが、降ったあとより酸性が強かったようですが、なぜですか？

A 雨の降り始めは、大気中の汚染物質を洗いながら落ちてくるので、酸性が強くなるようです。また、高い位置から降る雨は、低い位置から降る雨と比べて長い距離を落ちてくるので、そのぶん汚染物質を洗って酸性が強くなるようです。

さんせいう かんが こと
酸性雨について、ちょっと考えてみよう！（6ページ目）の答え

(1) p Hの低いほう (②・④・⑤・①・③) p Hの高いほう

(2) (②、④)

(3) (①、⑤)

(4) 針葉樹などの木が枯れる、湖の魚が生きられなくなる、銅像がさびる など

(5) 電気をつけっぱなしにしない、冷暖房をかけすぎない、物を大切に長く使う
 買い物にエコバッグを使う、自転車や歩きで移動する …などたくさんあります！

ねん 年	くみ 組	ばん 番
なまえ 名前		

はっこう かまくらしかんきょうぶかんきょうほぜんか
発行：鎌倉市環境部環境保全課
かまくらしおなりまち
 〒248-8686 鎌倉市御成町18-10
 TEL：0467-61-3443
 FAX：0467-23-8700